

吹田市デジタル政策1.0

めざす姿とビジョン

めざす姿

ビジョン

吹田市デジタル政策1.0



吹田市はデジタル活用を通じ、「利便性向上」「市民参加型」「サステイナブルな行政」「安心・安全」「人とのつながり」が実現した「人とつながる、すべての人にやさしいデジタルシティ」をめざします。



利便性向上



1 行政サービスをもっと便利に



市民参加型



2 デジタルサービスをすべての人に



サステイナブルな行政



3 人材と財産の無駄のない活用



安心・安全



4 安全で安心できるセキュリティ対策



人とのつながり



5 多様なコミュニケーションの創造

ビジョンを実現するための代表的な取組



利便性向上

行政サービスをもっと便利に

01

デジタル活用を積極的に進め、利用しやすい質の高い行政サービスを提供し、市民生活の質の向上に貢献する市役所をめざします。



【主な取組】

No	取組名	概要
1	Web口座振替受付サービスの導入	税や保険料、保育料などの口座振替の申込みが、インターネットからできるようになりました。
2	学校施設予約管理システムの導入	学校体育館や運動場などの施設利用の予約がインターネットからできるようになりました。
3	避難施設解錠システムの導入	災害時に施設管理者が不在でも、避難者自身が解錠システムを用いて鍵を開け、敷地内（グラウンド等）に入れるようになりました。
4	乳幼児集団健診の予約システムの導入	乳幼児集団健診の予約の際に、リアルタイムで空き状況を確認でき、予約も早期に確定できるようになりました。
5	一時預かり・休日保育予約システムの導入	公立施設の一時預かりや休日保育を利用する際、インターネットで利用申込などができるようになりました。



市民参加型

デジタルサービスをすべての人に

02

年齢や環境などの違いがあっても、すべての人がデジタルサービスを利用できるように働きかけを行うとともに、簡単・便利なデジタルを活用した行政サービスをめざします。



【主な取組】

No	取組名	概要
1	スマホ教室の開催	公民館や地域の交流センターなどで、高齢者やスマホ初心者の方を対象に基本操作について学ぶ講座を開催しました。
2	パソコン教室の開催	公民館や地域の交流センターなどで、初心者の方を対象にパソコンの基本操作について学ぶ講座を開催しました。

ビジョンを実現するための代表的な取組



サステイナブル
な行政

人材と財産の無駄のない活用

03

人材の育成や外部調達により、デジタル活用を加速していくことで、限られた財源や人材などを最大限に活用し、行政サービスを提供し続けられる「持続可能な市役所」をめざします。



【主な取組】

No	取組名	概要
1	児童館における入退館システムの導入	児童館の利用者登録がインターネットでできるようになりました。また、これにより職員の業務負担を軽減しました。
2	市民税・府民税の申告書への二次元コード印字	市民税・府民税の申告書に二次元コードを印字しておき、これを読み込むことで、職員の転記作業を軽減しました。
3	学校給食献立システムの構築	各校の栄養教諭が教育委員会に出張することなく、それぞれの勤務校のパソコンで献立作成ができるようになりました。
4	慢性腎臓病(CKD)重症化予防事業の開始に伴う健康管理システムの改修	腎機能低下が疑われる健診受診者を自動抽出することで、職員の抽出作業の負担を軽減しました。

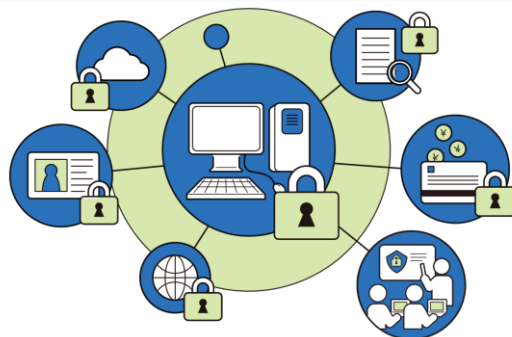


安心・安全

安全で安心できるセキュリティ対策

04

情報システムおよびそれを担う人や組織も含めて、すべての面でセキュリティを高めていきます。また、災害などの非常時においても、デジタル活用により安心感を得られるような環境づくりをめざします。



【主な取組】

No	取組名	概要
1	3Dハザードマップの利用による防災啓発	洪水時の各所の浸水状況を視覚化することで、避難行動・避難誘導の検討に活用しました。
2	情報セキュリティ研修の実施	全職員に対して毎年度情報セキュリティ研修を実施し、受講を義務付けています。
3	暗号化機能付き外部記録媒体への置換え	USBメモリなどの外部記録媒体について、自動暗号化機能付きの媒体への置換えを実施しました。

ビジョンを実現するための代表的な取組



人とのつながり

多様なコミュニケーションの創造

05

市役所からの積極的な情報発信を行います。
また、様々なデジタル活用により、市民と行政、市民同士が双方向で便利に情報交換できる環境を作り、つながりの強化をめざします。



【主な取組】

No	取組名	概要
1	保育・療育施設への運営支援システムの導入	登園状況の登録や連絡帳を電子化し、保護者とのタイムリーな情報共有や双方向のやり取りが可能になりました。
2	市公式LINEのリニューアル	メニュー画面の充実、画像添付など一部機能の追加により、より分かりやすい情報発信が可能になりました。
3	子育て応援サイト「すくすく」多言語機能対応	4か国語表記の機能を追加し、多様な利用者への情報提供に努めました。
4	公開型GIS（マップなびすいた）の地図コンテンツ追加	防災ハザードマップなど、市民や事業者が必要とする地図データが広く利用できるようになりました。
5	地域コミュニティアプリを活用した自治会DX	自治会等の回覧板の電子化や、自治会外も含めた広範な情報発信を可能にしたアプリを紹介し、地域コミュニティの活性化を図りました。

**デジタル政策1.0やその他の取組について
詳しく知りたい方は吹田市ホームページをご覧ください。**

吹田市ホームページ＞市政＞市の政策と計画・行政運営＞市の主な計画＞
行政経営＞吹田市デジタル政策

